

目的

- 自然災害教訓の伝承に関する地図・測量分野からの貢献として、過去の自然災害に関する石碑やモニュメントなどを地形図等に掲載することにより、過去の自然災害の教訓を地域の方々に適切にお伝えするとともに、教訓を踏まえた的確な防災行動による被害の軽減を目指す。

事業の内容

- 地方自治体をはじめ関係機関と連携し自然災害伝承碑の情報を収集する。
- 自然災害伝承碑の位置、伝承内容などを掲載するweb地図サイトを作成、公開する。
- 自然災害伝承碑の地図記号を新たに作成し、2万5千分1地形図等に掲載する。
- 防災地理教育への活用など、過去の自然災害の教訓への関心を高める活動を実施。

成果イメージ

● web地図サイトのイメージ

表示をクリックすると写真や伝承内容が表示

アイコンをクリックすると関連情報が表示

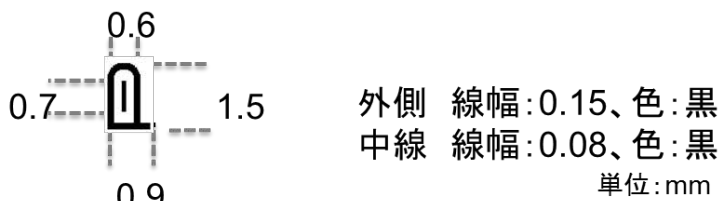
新たに災害伝承碑のレイヤを追加

水害碑
災害種別 洪水、土石流
建立年 1910
概要 表示

明治40年(1907)7月15日、数日来降り続いた豪雨により天地川や総瀬川で土石流が発生した。この未曾有の大災害により、43戸の家屋がつぶれ、44名の命が奪われた。

※伝承碑を示すアイコン

● 地図記号「自然災害伝承碑」の制定



現行の記念碑記号を1.5倍し中央に縦線を追加することで、自然災害伝承情報があることを暗示する。



スケジュール

- 平成31年度より情報収集等の事業を本格的に開始する。6月からweb地図の公開、9月から2万5千分の1地形図等に地図記号「自然災害伝承碑」の掲載を開始する。